

MA値測定のカウント方法

ウエットクリーニングの適性値を正確に把握するために

家庭用品品質表示法が改正され、店頭に並ぶほとんどのアパレル製品には新しいJIS取扱い表示のケアラベルがつけられている。

早速この5月からの冬物クリーニング品にも、見受けられるようになってきた。全く新しい表示として、ISO（国際標準化機構）が取り入れられた®（ウエットクリーニング）マークも、予想通り表示されているのが目につく。

●新JISは法律ではないが、その表示義務は法律で定められている

新しいJIS（日本工業規格）は、国家規格であって法律ではないが、家庭用品品質表示法という法律に基づいて作成された繊維製品品質表示規程の第2条（定義）によって「『取扱表示』とは、日本工業規格L0001」とされている。

新JISの表示にあたっては、表示者であるアパレルメーカーなどには、日本工業規格（JIS L 0001 序文）に「取扱いに関する表示記号又は付記用語で示した事項は、信頼性のある根拠（試験結果、素材の特性、過去の不具合実績など）による裏付けをもつことが望ましい。」と記述されており、表示者に対しては、それなりの責任があることを示している。

この表示は、「回復不可能な損傷を起こさない最も厳しい処理・操作に関する情報を提供する」（JIS L 0001 序文）とされていることから、表示よりも厳しい処理を行った場合、「回復不可能な事故」になるということを意味している。このことから、処理を行う消費者及び商業クリーニング業者は、行う処理の程度を正確に把握しておく必要があるといえる。

●ウエットクリーニングのMA値の把握

商業クリーニング業者に、表示通りに処理する法律的な義務はないが、事故が起きた場合に表示に従った処理を行ったかどうかについては、責任を問われることになる。

ウエットクリーニングの表示については、ウエットクリーニング試験方法（JIS L 1931-4）「解説」によってMA値による以下のような基準が設けられている。

Ⓜ MA 値 70～85

Ⓜ MA 値 35～45

Ⓜ MA 値 25～30

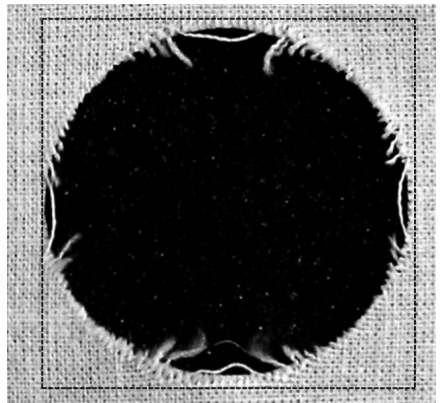
MA値試験は、デンマーク技術研究所製の試験布（24×24cm）の4隅を試験材料に縫い止めたもので洗浄試験を行う。



●MA値の測定方法と評価

MA値の測定方法については、（参考）として家庭洗濯試験方法（JIS L 1930）に以下のように述べられている。

「a）X＝切れた糸の本数、Y＝つながった状態で飛び出した糸の本数 b）外接正方形の4か所について数え、1穴のX+Yの合計を計算した後、15穴の合計を求め、試験枚数（N数）の平均を整数位まで求める。」



上図の場合、上部でつながった状態で飛び出した糸（Y）が1本（もともとつながっていなかった糸は数えない）、右部は（Y）1本、下部はつながった状態で飛び出した糸（Y）が1本と（もともとつながっていたが）切れた糸（X）が1本、左部は（Y）1本となり、この合計（X+Y）は5本となる。5つのパンチ穴すべてが、5本であれば 25 ということになり、MA値 25 という評価になる。

JIS公式MA試験布（3枚以上申込）
協会会員：1,500円 非会員：1,800円

一般社団法人日本テキスタイルケア協会
申込先 FAX：0463-75-8642 E-mail：texcare@nifty.com
最寄りのかなめ流通グループ機材商

▼クリーニング業界は春の繁忙期に突入しましたが、つい先日、WASH & FOLD 中目黒旗艦店がオープンしました。オープンingleセブションに参加して感じた事は、業界関係者が少なくデザイナーやファッション業界の方や情報感度の高い方々が多く参加されていました。お洗濯やクリーニングに関する質問も多く、一般社会からの関心度の高さが伺えます▼洗濯代行、コインランドリー、クリーニングとして物販と4本の柱で構成されていくさまにお洗濯のワンストップサービスを集約した形で、様々なお洗濯の悩みに対応する構えでした▼時代の流れと共に生活習慣が変化していく、家庭の中での時間の過ごし方、手間の掛け方、様々な要因から部屋干しが増えたり、通販やネット発注や宅配サービスが増え、また慣れ、消費への障壁が下がっています▼消費環境が変わる中、サービスを供給する側も合わせて変化せねばならず、変化に伴ってクリーニングの本質的な所や品質、利便性についても消費者へ認知してもらう良い機会とも言えます。時流を後ろ向きに捉えるのではなく、前向きに積極的に挑戦し続けている姿勢にとても刺激を受けました。ピンチはチャンス、アイディアや本質が試される時代です。

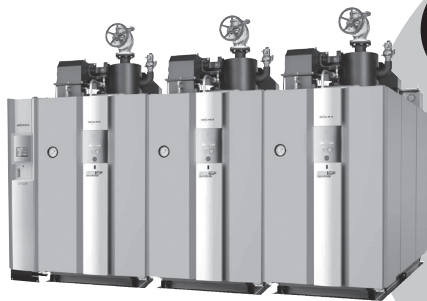
編集後記

工場 向上 計画

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

省エネを極めれば、工場は強くなる。



ミウラならではの
高効率を実現！
小型貫流蒸気ボイラSQ

環境負荷
低減

作る

蒸気の
トータル
ソリューション

活かす

廃熱水の
再利用



年間
500万円[※]
削減

高温の熱水（ドレン）から
低圧の蒸気を取りだす！
フラッシュ蒸気発生装置
HJ-4000

※ボイラ燃料費の下記条件での試算値。
お客様の使用条件によって異なります。
ドレン回収量4,000kg/h、稼働時間
3,000h/年、蒸気単価5.6円/kg、ドレン
圧力0.8MPa、フラッシュ蒸気圧力0.2MPa、
フラッシュ蒸気発生量330kg/h

まずは「省エネ診断」。

三浦工業株式会社

TEL.089-979-7000 FAX.089-978-2321 〒799-2696 愛媛県松山市堀江町7番地